

徳島県立富岡西高等学校 部活動に係る活動方針

1. 活動の基本方針

- ① 「文武両道」の実践を通して、知・徳・体のバランスのとれた心身の成長を培い、学業と部活動の両面から活気のある学校づくりに取り組む。
- ② 技能や体力の向上、大会等の目標達成を図るとともに、仲間や教師等との好ましい人間関係の構築を図り、礼儀や規律、自己肯定感、責任感、協調性等を育む。
- ③ 生徒の自主的、自発的な学びの場としての教育的意義を部活動顧問・担任等が共有し、密接に連携して、生徒一人一人の成長を図る。

2. 適切な運営のための体制整備

- ① 部活動は学校教育の一環であることを踏まえ、学校全体で適正な運営や効果的・効率的な活動を推進するために、「部活動適正化推進委員会」を設置し、コンプライアンス意識や活動の質の向上を図る。また、定期的に部活動顧問会議、部活動主将会議を開催し、部活動の意義、運営や指導の在り方について共有・理解を深める。
- ② 部活動顧問は、活動計画（活動日、休養日及び参加予定大会等）を作成し、活動目標や指導の方針、指導内容や方法等について生徒が理解できるように適切に伝えるとともに、活動状況について生徒及び保護者等への情報発信を行う。また、日常の指導においても、生徒とのコミュニケーションの充実を図る。

3. 活動に当たっての留意事項

- ① 部活動顧問は、個々の生徒の心身の健康状態や体力、疲労状況等を的確に把握し、けがや事故の未然防止に努めるとともに、体罰や暴言、ハラスメント行為のない生徒の人権を尊重した指導法を徹底する。
- ② 1日の活動時間は、平日は2時間程度、休業日は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効果的・効果的な活動を行う。後片づけ等を含め午後7時30分までに完全下校する。
- ③ 顧問は帰宅指導を徹底する。部室は着替えのみで使用することとし、すぐに帰宅させる。部室や部室周辺等での居残りがないように指導する。
- ④ 生徒とのコミュニケーションを十分に図り、生徒の帰宅後の生活や日頃の学習状況を把握して、メリハリのある時間の使い方を指導する。
- ⑤ 土曜日及び日曜日は少なくとも1日は休養日を設け、年間を平均して1週間に2日程度の休養日を設ける。休養日の設定については、部の特性や大会等の事情を踏まえて各部で適切に定める。
- ⑥ 部費等を徴収する際は、その使用目的、金額等について文書で通知し、保護者の理解を得るとともに、会計報告書等を作成して執行状況を報告する。
- ⑦ 遠征等で部活動関係者管理自動車等に生徒を同乗させる場合は、保護者の同意を得る。